

学区探訪

十・三

郷土資料の
九十一号

八剣神社の神々

八剣神社の御神体は、八軀の神像であり新編岡崎市史十七巻や新編岩津町史にその写真が載っています。いずれも桧材の一木造、彩色、彫眼の像で、女神像・男神像・如来像などがあります。大きさは男神立像の六十三・五センチが一番大きく、一番小さな馬に乗った武将神が二十四・二センチです。鎌倉時代末から室町時代にかけての作と考えられています。

奥の院と称されている境内神社は天照皇大神宮で、当神社創立当時から奉祀されています。また、大正十三年二月に境内神社であった稲荷社・八幡社・秋葉社の三社を本社に合祀しました。

この稲荷社や八幡社・秋葉社は郷中の小さな守り神としてあったのですが、維持管理がたいへんであるということで大神に合祀されました。今は上大門の公民館のところで、八幡社の鳥居・稲荷社の社・秋葉社の常夜灯を見ることができます。最近になり立派に整備されたのです。

学区探訪

十・四

郷土資料の
九十二号

八剣神社の祭礼

八剣神社の祭礼に「お旅」というのがあります。これは八剣神社の御神体を神輿に乗せ、下大門の毘沙門天まで担いでいくのです。神さんが旅をしてお客に行くので、「お旅」といいます。毘沙門天で御祈禱をあげてもらって、また上大門の八剣神社の本殿までもどってきます。

昔はこのお旅の時に立派な花飾馬が出ました。昭和七年の「参河国額田郡神社誌」

によると、

「寛政十一年九月二十六日以後より、毎年栗寺村・下村・馬場村・国江村の四ヶ村より九月十三日の祭礼の神輿渡御に、花飾馬数匹の奉納ありて、境内は賑わひたり。現在にても此儀あり。」

と書かれています。八剣神社の氏子は矢作川を越えた国江村・東西耕塚村（現在の豊田市）にまで及んでいたため、川向こうから立派な花飾馬の奉納があつたのです。村の古老によると、この花飾馬も戦後一度出たきりなくなってしまうたそうです。

学区探訪

十・五
郷土探訪の
九十三号

八剣神社の氏子

今では八剣神社は大門の神さまとして祭られており、祭礼も大門だけで行われています。しかし本来、八剣神社の氏子とは広い範囲に及んでいたのです。もともとは上里・藪田も八剣神社の氏子でした。ですから、昔は八剣神社の祭礼の時には上里・藪田もお神酒や鏡餅を持って行きました。八剣神社は、このあたりでは最も古く社格も他の神社より高かったのです。参河国額

田郡神社誌にも、

「社殿及境内の風致良く完備せり。古くより隣村上里村・藪田村より、毎年の祭礼に供物の献納あり。」と書かれています。また、矢作川を越えた国江村・東榎塚村・西榎塚村も氏子でした。川をはさんで向こう側にも氏子があるのは昔の矢作川の流れが今と違っていたことを思わせます。

古い記録に神主藤江権太夫とあります。今、神社のすぐ南に藤江さんという方が住んでみえますが、権太夫の子孫です。

学区探訪

十・六
郷土探訪の
九十四号

上里神社

上里神社の境内に社記がありますが、そこに上里神社の由緒が書かれています。

「明治九年九月十三日村社ニ被列

昭和十七年十月矢作川改修工事

ノ為メ現鎮座地ニ移転ト共ニ上

ノ切住吉神社及下ノ切興津彦神

社ヲ合併シ上里神社ト改称ス」

昔、上里は二つに分かれていました。今の一丁目のあたりが上の切、三丁目のあた

りが下の切です。そしてそれぞれに神社がありました。上の切が住吉神社、下の切が興津彦神社です。両神社とも矢作川の堤防沿いにあつたのですが、堤防改修工事の際に移転され、現在地で合併されたのです。移転の時には、それぞれの本殿を堤防沿いにひきずってきたそうです。上里神社の拝殿が旧興津彦神社の拝殿です。旧住吉神社の拝殿は神楽殿とされたのですが伊勢湾台風で倒れてしまいました。現在も跡が残っています。神社の東、毎年みこの舞の舞台をつくるあたりです。

学区探訪

郷土文化の
九十五号

十・七

） 統 ・ 上里神社 ）

興津彦神社も住吉神社も矢作川の堤防上にありました。ですから大雨で洪水の危険があると、村の人々は真つ先に神社を守りに行きました。つまり神社を守ることが堤防を守ることであり、さらに村を守ることになったのです。

昭和十七年、両神社が合併されました。その時、新しくできた神社に何と名前をつけたらいいのか困ってしまいました。それ

ぞれの神社に昔からの名前があります。上の切の人も下の切の人もそうたやすく譲れません。そこで時の岩津町長に命名を一任しました。ですから、「上里神社」という神社名は当時の岩津町長加藤錫太郎によってつけられたのです。

興津彦神社には境内神社として神明社がありました。これは毒蛇よけの神さんです。昔から堤防で仕事をしていると、まむしの被害がたくさんありました。そこでまむしよけのために祭つたのでしょう。今の上里神社に合祀されています。

学区探訪

郷土文化の
九十六号

十・九

） 学区の神社 ）

大門の八剣神社、上里の上里神社について紹介しました。学区のその他の神社についてまとめてみたいと思います。

藪田にあるのは八幡宮で、祭神は応神天皇。藪田の八幡宮には、昔御田願祭で使ったお神輿が保管されています。

大樹寺にあるのは天満宮で、祭神は菅原道真。大樹寺村は宝永二年（一七〇五）の大洪水で村を移転して今の位置に作られま

した。その時、氏神天満宮を東北隅に蔵屋敷を南隅におき、十七戸の屋敷割をしたと伝えられています。天満宮の境内にお地藏さんがあります。「右・むねさだわたし」「左・だいもんわたし」と道案内が刻みこまれています。

その他、村の小さな氏神さんとして中大門には天満宮、下大門には毘沙門天、大門新田には八幡宮があります。また昔の渡船場には、船の神さんとして金毘羅神社がありました。大円寺の境内に移転されました。

学区探訪

十・十一

九十七号

慈雲寺と大円寺

学区には二つの寺院があります。上大門の大円寺と下大門の慈雲寺です。慈雲寺は真宗大谷派で、永正五年（一五〇五）に建てられました。寺宝は蓮如上人が書かれた六字名号『南無阿弥陀仏』です。永禄六年（一五六三）に兵火に遭い燃えてしまいましたが、蓮如上人ゆかりの六字名号のみは村人によって守られました。後に村民の協議により、再建されました。

大円寺は浄土宗鎮西派で大永八年（一五二八）に建てられました。本尊の観世音菩薩は行基一刀三礼の作と伝えられています。この観音像はもともと農家に安置され部落の人々の尊崇をあつめていました。ある夜松平長親が夢を見て、この夢のお告げによって観音堂を建てたのが大円寺の始まりだと伝えられています。この観世音菩薩は三河三十三観音の第二十二番札所として人々の信仰を集め、別名「田植観音」とも呼ばれています。また、観音堂は「大悲閣」と呼ばれています。

学区探訪

十・十三

九十八号

村人の信仰

神社や寺院についてまとめてきましたが、昔の人々の素朴な信仰をいろいろな所で見ることができます。例えば、庶民の味方として衆生を救済して下さるお地蔵さんは各町内の公民館の前にあります。そして、地蔵祭りが行われています。

防火の神さんである秋葉山常夜灯は、上大門・中大門・上里の公民館にあります。上大門常夜灯には天保十年（一八三九）、

中大門常夜灯には安政六年（一八五九）、上里常夜灯には天保三年（一八三二）と刻まれています。「村中安全」の祈願も刻まれています。

昔、上里下の切には観音堂がありました。上里上の切には説教所があり弘法大師像が祭られていました。藪田には薬師如来像があります。これは百八十年ほど前、信州の与助という人が背負ってきたものです。大樹寺には魚籃観音があります。下大門にあるのは五十猛神社といえます。このようにあちこちで、神仏を見ることができます。

学区探訪

十・十四

郷土探訪の
九十九号

地名から

地名は歴史研究の重要な資料となります。大門学区の古くからの地名は、区画整理によりなくなってしまいました。ただ公園の名前などに昔の小字が残されています。

地名から信仰に関わるものを見つけました。大門と上里にまたがる小字に「便寺」というのがあります。中大門には「勝蓮寺」があります。昔、勝蓮寺というお寺があったと伝えられています。今の勝蓮寺

公園の南です。この勝蓮寺は矢作川の洪水で流失し、矢作に移転しました。現在は矢作橋の近くにありますが、今でも中大門に檀家が多くあるそうです。上大門には「神明」、中大門には「天神」、下大門には「権現」「方楽」といった小字がありました。それぞれ、神明信仰、天神信仰、権現信仰に因む地名だと考えられます。方楽は仏教語の法楽からきているのでしょうか。昔、天神や神明には木がはえていて村人から天神の森とか神明の森とか呼ばれていたそうです。

学区探訪

十・十六

郷土探訪の
百号

焼夷弾投下

昭和二十年三月十八日、大門に焼夷弾六百発が投下されました。場所は上大門、矢作川から水郷公園の池の東にかけてです。目撃者から聞いた話です。

「アメリカ軍の飛行機B29が一機飛んできました。上を向いて見ていると、突然ピカッと光ったのです。そして光ったところから無数に何か落ちてきます。びっくりしていると矢作川から池にかけて落

ちていき、堤防の枯れ草や干してあったわらやすずみが燃えだしました。当時、大円寺に農耕隊という兵隊さんが駐屯していましたので、この農耕隊の兵隊さんたちが消火作業にあたってくれました。矢作川に焼夷弾の油が浮いて燃えていたのが金魚花火のようであったのをよく覚えていています。」

六角形をした焼夷弾のカラや不発弾がたぐさん落ちていたので農耕隊と村人が片付けましたが、牛車に六、七台分もあったそうです。大樹寺小学校へ運びました。